

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成30年12月13日 (2018.12.13)

【公開番号】特開2017-144850(P2017-144850A)

【公開日】平成29年8月24日 (2017.8.24)

【年通号数】公開・登録公報2017-032

【出願番号】特願2016-27483(P2016-27483)

【国際特許分類】

B 6 2 D 25/08 (2006.01)

B 6 2 D 21/15 (2006.01)

B 6 0 R 19/54 (2006.01)

B 6 0 R 19/18 (2006.01)

【 F I 】

B 6 2 D 25/08 D

B 6 2 D 21/15 C

B 6 0 R 19/54

B 6 0 R 19/18 R

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月5日 (2018.11.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

ロアアブソーバは、前方からの衝撃を吸収するため、ある程度車両前後方向の寸法を有している必要がある。しかし、フロントバンパの意匠上の制約によって、フロントバンパの裏面から車体構造部材までの空間、すなわちロアアブソーバが配置される空間の車両前後方向の寸法が、車幅方向の位置によっては十分に確保できない場合がある。このような場合であっても、上記構成によれば、車幅方向に隣接した別体の第 1 のアブソーバと第 2 のアブソーバとでロアアブソーバを形成したので、第 1 のアブソーバおよび第 2 のアブソーバの車両前後方向の寸法や剛性をそれぞれ別々に調整することで、衝撃を十分に吸収でき、歩行者の脚部の保護性能を確保できる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 6 】

例えば図 4 に示す領域 1 4 6、1 4 8 では、外側アブソーバ 1 1 6、内側アブソーバ 1 1 8 およびベースブラケットの 3 つの部材が互いに重ねられ接合されることで、ロアアブソーバ 1 0 8 が車体構造部材に強固に取付けられている。なお領域 1 4 6、1 4 8 以外においては、ベースブラケット 1 4 4 は、外側アブソーバ 1 1 6 に主に接合されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 2 8 】

このように車体前部構造 1 0 0 では、車幅方向に隣接した別体の外側アブソーバ 1 1 6 と内側アブソーバ 1 1 8 とでロアアブソーバ 1 0 8 を形成し、内側アブソーバ 1 1 8 および外側アブソーバ 1 1 6 の車両前後方向の寸法や剛性をそれぞれ別々に調整している。したがって車体前部構造 1 0 0 によれば、フロントバンパ 1 0 2 の意匠上の制約がある場合であっても、ロアアブソーバ 1 0 8 が十分な衝撃吸収性能を確保できる。